

# わくわくボランティア

第81号

発行/海津市社会福祉協議会内市民活動ボランティアセンター  
TEL. 0584-55-2300 FAX. 0584-55-1990

ボランティア登録状況 (11月15日現在)

団体数 91団体(2,564人) 個人 67人 合計 2,631人



## 育てふくしの心

～福祉協力校活動紹介～

### 高齢者疑似体験

#### 石津小学校・海西小学校

10月12日(水)、10月20日(木)に石津小6年生の児童が、10月21日(金)に海西小6年生の児童が高齢者疑似体験学習を行いました。疑似体験セットを装着し、日常生活動作を体験した児童たちは、高齢者の気持ちや身体の変化を知り、相手の立場にたった介助の仕方を学びました。児童から「高齢者のかたが困っていたら荷物をもってあげるなど手助けをしてあげたいです。」と感想があり、今回の体験で学んだことを活かしてもらいたいと思いました。



▲手を握り優しく介助する石津小の児童



▲腰を曲げ、ゆっくりと歩く海西小の児童

### 点字学習

#### 吉里小学校

▼点字トランプに夢中



10月13日(木)、市内にお住まいで視覚障がい者の伊藤国男さんを招いて点字学習を行いました。伊藤さんは、視覚障がい者の思いや生活での工夫をお話されました。話を聞く児童たちは伊藤さんのお話に興味津々で、熱心に耳を傾けていました。また、児童たちは点字機を使って文字を打ち、打った文字を伊藤さんに読んでもらいました。

児童たちは障がいについて理解を深め、思いやりの心を持って行動できるようになったのではないのでしょうか。

### 車イス体験学習

#### 大江小学校

10月25日(火)、車イス体験学習を行いました。まず、車イスの種類や操作方法、介助の仕方など学び、その後は屋外に出て車イスを体験しました。児童は「車イスを押してもらったときに急に出発したり、曲がったりしてとてもびっくりしたので、しっかり声掛けをして車イスを押してあげたいです。」と段差や坂道での大変さを感じ、車イス体験を通して児童たちはコミュニケーションの大切さを学びました。



◀坂道で力いっぱい車イスを押しまいた



# ふくしに関心を持とう!

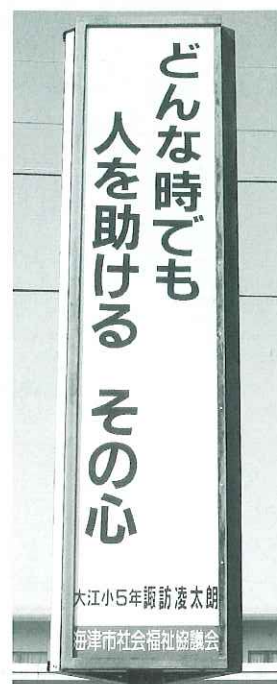
## 平成23年度福祉標語優秀作品

ふだんの暮らしの中で、ふくしをより身近に感じていただくことを目的に、市内の小学・中学・高校生を対象に福祉標語の募集を行いました。

各学校からたくさんの応募をいただき、選考委員会において、それぞれの学校の優秀作品を1点ずつ選定しました。各学校の優秀作品と看板設置箇所は下記のとおりです。応募していただきました生徒の皆さんありがとうございました。



▲城山小学校内の看板



▲海津温泉前の広告塔

## 平成23年度学校別優秀作品

学校名・学年・名前	福祉標語	看板設置場所
高須小学校 5年 豊田 竜功	ありがとう みんなで作る 思いやり	ひまわり前広告塔
吉里小学校 5年 横地 翔	だいじょうぶ 一人じゃないよ みんないる	ひまわり前広告塔
東江小学校 5年 加藤 琢雲	言葉では 伝わらなくても 笑顔なら	海津温泉前広告塔
大江小学校 5年 諏訪 凌太郎	どんな時でも 人を助ける その心	海津温泉前広告塔
西江小学校 5年 瀬古 大智	きずつけない 相手の気持ち 考えて	海津温泉前広告塔
今尾小学校 5年 野田 蒼志	あいさつで みんなが笑顔 いい町に	幡長交差点広告塔
海西小学校 5年 大橋 亮太	がんばって みんなの応援 みなぎる力	幡長交差点広告塔
石津小学校 5年 田水 理沙	手をつなぐ 家ぞく広がる えがおのわ	校舎敷地内
城山小学校 6年 伊藤 駿	あそぼうよ ひとつことかければ 広がる輪	校舎敷地内
下多度小学校 5年 大平 瑞姫	わたしがね いっしょにいるよ だいじょうぶ	校舎敷地内
日新中学校 2年 伊藤 羽蘭	ごみひとつ 自らひろう その勇氣	ひまわり前広告塔
平田中学校 2年 河合 桃香	「大丈夫？」 少しの勇氣と 思いやり	幡長交差点広告塔
城南中学校 2年 伊藤 優香	優しさと 心の強さで 助け合い	校舎敷地内
南濃中学校 2年 半谷 菜摘	一言で 希望の一步 踏みだせる	校舎敷地内
海津明誠高校 2年 西脇 茉穂	かならずある 今の私に できること	校舎敷地内

☆市内各所に看板を設置していますので、お近くに寄られた際にはぜひご覧ください☆

## 第3弾海津市災害ボランティア隊の報告

和歌山県の復旧を支援するため、10月15日(土)に和歌山県新宮市へ派遣する予定でしたが、現地が悪天候のため、支援活動が困難であると判断し、中止することにしました。ご応募していただきました皆さま、並びに関係者の皆さまにお詫び申し上げます。



すませば...

今月は福祉体験学習で市内の多くの小学校を回らせていただきました。児童たちの一生懸命車イスを押す姿、高齢者疑似体験セットを付けたお友達の手を握り優しく介助する姿がとても印象的でした。介助技術も大切ですが、それ以上に相手を思いやる優しい気持ちが大切ですよ。

インフォメーション

海津市社会福祉協議会内市民活動ボランティアセンター  
TEL 55-2300 FAX 55-1990 E-mail: info@kaizu-wel.jp